

2023 年度第 9 回執行理事会議事録

日程：2024 年 3 月 16 日（土）13:00-16:00【WEB 会議】

出席：岡田 誠，杉田律子，星 博幸，中澤 努，緒方信一，内尾（保坂）優子，亀高正男，小宮 剛，坂口有人，高嶋礼詩，辻森 樹，矢部 淳

監事：岩部良子

欠席：内野隆之，尾上哲治，加藤猛士，狩野彰宏，松田達生，山口飛鳥，山本正司（監事）

事務局 澤木

*定足数（過半数：10）に対し，執行理事 12 名の出席

*前回 23-8 議事録案について，本執行理事会にて承認された。

報告事項

1. 全体的報告

- ・ 地質地盤情報の活用と法整備を考える会（代表 栗本史雄）より 2024 年 4 月（予定）に一般社団法人に移行し，今後名称を「国土デジタル情報研究所 地質地盤情報の活用と法整備を考える会」として活動する旨連絡があった。
- ・ 文部科学省より，令和 7 年春の科学技術に関する黄綬，紫綬及び藍綬褒章受章候補者の推薦依頼があった。

2. 運営財政部会（亀高・加藤）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集，連絡等>

- ・ 令和 6 年度第 19 回筑波大学朝永振一郎記念「科学の芽」賞より後援依頼があり，承諾した。
- ・ 三浦半島活断層調査会より，地質の日記念「深海から生まれた城ヶ島」地層見学会（2024/6/2 開催）への後援依頼があり，承諾した。

<会員>

1. 今月の入会者：4 名（2024 年度からの入会）

正会員一般（3 名）金栗 聡，古川稔子，米倉優太

正会員学生（1 名：単年度）前田宗孝

2. 今月の退会者：なし

3. 今月の逝去者：1 名

正会員シニア（1 名）澤田武美（逝去日：2023 年 12 月 7 日）

4. 2024 年 2 月末会員数

賛助：31，名誉：34，ジュニア会員：4，正会員：3204 [一般 2151，シニア 840，学生 213] 合計 3273（昨年比-29）

5. その他

- ① 2023 年度末退会予定者数(正会員 74 名，一般会員：36 名，シニア会員：31 名，学生会員：7 名)
- ② 2023 年度末除籍予定者数(正会員 89 名)。

- ③ 永年会員顕彰者(4月理事会にて報告予定). 対象者は, 顕彰年度の前年度までに40年, 50年, 60年, 70年間の会費を納入した会員. 3月末までの会費納入者で対象者を抽出予定.

<会計>

会員システム保守費用が値上げとのこと. 年額516,010円税込(年額1万余の値上げ)

<その他>

- ・ 事務局ネットワークセキュリティ強化のためファイアウォールの導入を検討中. FortiGATE: 月額リース料16,300円, 月額保守料5,500円. 導入を承認した.
- ・ 2023年度寄付者の報告: 磯崎行雄会員

3. 広報部会 (内尾・松田)

1) 広報委員会 (内尾)

- ・ フォトコンテスト審査終了. 入選作品11点を選考した(最優秀賞該当なし). 講評等準備中. 入選作品展示会: 5/1(水)-5/12(日) 於 上野公園東京パークスギャラリー.
- ・ 学会HPリニューアルの進捗状況. 常時活用されているページを中心に, 外注での移設ページの選択と分量の概算作業中. 当初からの計画は約100ページで150万程度を想定. 各ページの取捨選択を各部会等に依頼する予定.

4. 学術研究部会 (辻森・尾上・高嶋・山口)

1) 行事委員会 (高嶋・山口)

- ・ 2023 京都大会: 巡検案内書その後
 - Aコース(第四系): 査読後の著者修正段階. 4月下旬には修正稿を提出の予定.
 - Bコース(ジオパーク): 未投稿
- ・ 2024 山形大会:
 - 山形大会会場使用料の減免措置については年度明けに決定される見込み.
 - 巡検案内書の準備状況: 4コース分査読中(A, B, C, F). 3コース分近日投稿予定(D, E, G). 1コース状況不明(H)
 - 執行李事会企画シンポジウム: ニュース誌4月号(予告記事)に紹介記事を掲載する.
- ・ 2025 熊本大会: 巡検コースの詳細が示された(→審議事項へ)
- ・ 2026 金沢大会: 金沢大会会場使用料について概算見積を大会LOCに依頼中.
- ・ ショートコース(山口): 第10回ショートコース「海底鉱物資源」を実施(2/25開催, 参加者43名).

2) 専門部会連絡委員会 (尾上)

- ・ 「地震火山観測研究計画(第3次)」に関する地質学会提言への対応について, 地質学会からの17件の提言のうち「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第3次)の推進について」に反映された提言は6件(+部分的に該当するもの2件)あった. 地震の研究に関する提言はよく反映されているが, 火山の研究に関する提言は反映されていない. 意見を頂いた専門部会に検証結果を報告する予定.
- ・ 各部会に対して, 体制・活動の2023年度年次報告を依頼中.

3) 国際交流委員会 (辻森・岡田)

IGC2024 3rd circular(複数回の更新あり)の内容を受けて, IUGS分科会からの現状報告があった. 参加

は個々の判断に任せる。

4) 地質標準化委員会（内野）

- ・ JIS A0204 及び JIS A0205 の今後の予定について、今年が改定の年である。4 月中に原案作成委員会開催予定。地質学会からは磯崎理事が参画。

5. 編集出版部会（狩野・小宮）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

(1) 編集状況報告（2024 年 3 月 15 日現在）

- ・ 2024 年投稿論文：15（昨年比+2）[内訳] 論説 7（和文 7），報告 2（和文 1，英文 1），レター 1（和文 1），フォト 1（和文 1），巡検案内書 4
- ・ 査読中：21，受理済み：1，入稿・校正中：8，130 巻公開済み 6 件（88 ページ）
投稿の昨年比は同程度ないし少ない状況。呼びかけをお願いしたい。

2) Island Arc 編集委員会（狩野）

(1) 編集状況報告

- ・ 2023 年 IF の見込み（0.91）

3) 企画出版委員会（松田）

特になし

6. 社会貢献部会（坂口・矢部・内野）

1) 地学教育委員会（坂口）

- ・ 令和 6 年度大学入試共通テストの地学関連科目に関する意見書（→審議事項へ）

2) 地質技術者教育委員会（坂口）

- ・ 第 4 回 JABEE シンポジウム「大学縮小期に社会の要求にどう答えるか」3/3 開催。参加者 89 名。参加者アンケート（66 件：回答率 74%）の回答を整理中。当日の録画内容を近日 YouTube に公開予定。併せて「大学教育に産業界は何を期待しているか」のアンケート結果についても今後参考したい。

3) 生涯教育委員会（矢部）

- ・ 自然史学会連合よりパブリックコメント募集の連絡があった（「千葉県立中央博物館みらい計画（案）」に関する意見募集）。募集締切が迫っての広報であったため、会員への周知は行えず、個人としての意見を寄せることとした。
- ・ ニュース誌連載記事「博物館・ジオパークで地球を学ぼう！」の記事分担を進めている。3 月号は青森県立郷土館・島口氏。

4) 地震火山地質こどもサマースクール（星）【報告資料 03】

- ・ 3 学会連合企画委員会が 2/18 にあり、今後の大会準備状況等について報告・協議があった。
- ・ 2023 年大会（神奈川県平塚）：決算報告が 2 月中に完成する見込み。戻入金について実行委員会から学会事務局に連絡がある予定。
- ・ 実施報告書が送付された。決算の結果、余剰金が発生し 3 万程度還付予定。
- ・ 2024 年大会（徳島県三好）：開催日は本年 8 月 7 日（水）～8 日（木）の 2 日間（1 泊 2 日）。児童・生徒の参加費は 8,500 円の予定（参加者の宿泊費＋飲食代を想定）。市内在住の児童・生徒に対してのみ市からの補助を検討中とのこと。大会収入は参加費の他に 3 学会からの負担金とノエビア助成金（申請中）を

想定。ノエビア助成申請は実行委員会が行う。大会プログラムを本年度内に作成予定。

- ・ 2024年度からの参加費は実費負担を原則としたいの方針で計画している。
- ・ 2025年大会（御嶽火山の予定）：2月末に地元関係者も交えてオンラインミーティングを予定。
- ・ 2026年大会：開催地募集期限を過ぎたが応募がなかった。期限を延長して募集する。2025年2月までに決まれば問題ない。地震を中心とするテーマで東北地方で開催することを想定し、地震学会が東北大関係者などと相談している。

5) 地質の日（矢部）

- ・ 街中ジオ散歩 inTokyo「身近な地形・地質から探る麻布の歴史と湧水」の広報準備を進めている。参加募集受付4/5-15。5月19日（日）開催。
- ・ 地質の日オンライン一般講演会：5/12(日)のチラシ作成を進めている。学会HP、地質の日事業推進委のポータルサイトで広報を行うほか、関連学協会に広報を依頼する予定。講師2名（宍倉氏、卜部氏）より講演依頼を諸諾いただいた。タイトル案について、一般市民に誤解を与えないよう、講演内容を適切に表現したタイトルにするよう再検討する。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネージメント委員会（中澤）

特になし

2) 若手育成事業検討WG（内野）

- ・ 選考委員会を3/11に開催し、2024年度研究奨励金支給者の選考を行なった。結果を次回理事会へ上程する。

3) 表彰制度検討WG（中澤）

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会（矢部）

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会（坂口）

国内本選大会が3月10日-12日につくばで開催された。参加63名。10名が金メダルを獲得（うち女性3名）。北京での国際大会はこの中から4名が選考される。予選から2,000名余の参加者があった。支援委員会では予選問題をレビューする予定。

3) 支部長連絡会議（杉田）

特になし

4) 地質災害委員会（松田）

特になし

5) 名誉会員推薦委員会（星）

- ・ 推薦委員会を3/4に開催し、3名の名誉会員候補者を選定した。この3名を理事会に推薦する。

6) 各賞選考委員会（中澤）

- ・ 選考結果報告
リモート会議を計7回行い、選考を行った。選考結果を理事会に上程する。また、各賞選考のプロセスについて、次年度の委員会への申し送りおよび理事会への要望が寄せられた。

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（辻森）

特になし

8) 連携事業委員会（中澤）

特になし

9) 法務委員会（中澤）

特になし

10) 若手活動運営委員会（桑野）

特になし

9. 研究委員会

1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）

特になし

2) 法地質学研究委員会（委員長 川村紀子；杉田）

特になし

10. その他

1) 選挙管理委員会（代理中澤）

- ・ 委員会を3/14に開催。理事選挙の開票を行った。

審議事項

1. 若手活動運営委員会巡検企画と学生会員への参加費補助について（下岡）

本年10月または11月に愛知県犬山市周辺の中生代付加体、岐阜県瑞浪市周辺の中新統と瑞浪市化石博物館見学（または土岐花崗岩と東濃地科学センター見学）などを計画。日帰りバス貸切、参加32名で参加費8,000円程度/人を想定。バス代等の見積もりを精査して参加費を決定する。案内者は検討中。学生会員への参加費補助対象の巡検として承認した。

2. 大柳会員の柵山賞受賞記念講演について（高嶋）

行事委員より、昨年受賞記念講演会を急病で欠席した大柳良介会員のために、山形大会で再度講演の機会を設けられないかという検討依頼があった。執行理事会として承認した。大会スケジュールに配慮し表彰式と別日程とする場合、時間設定と周知の工夫が必要。

3. 2025熊本大会の巡検コースについて（高嶋）

熊本大会の巡検案が提出された。天草諸島の上部白亜系コースについては、潮位と案内者の都合上、プレ巡検で2泊3日（御所浦島に宿泊予定）を予定。御所浦島へは海上移動となり、悪天候の場合は宿泊も難しい。これらのリスクについて事前に主催者側で検討しておく必要があるため、宿泊先を離島としない計画での再考を求めたい。

4. 令和6年度大学入試共通テストの地学関連科目に関する意見書（坂口）

入試センターへの意見書を取りまとめ、近日中に送付予定。「地学」は昨年（49.85点）よりも高い56.62

点であり評価したい。「地学基礎」「地学」の両者とも良質な問題が出題されており評価したい。

5. Island Arc Award の廃止について（辻森）

Island Arc award は当初出版元の Wiley から 500 ドルの賞金を拠出し共同名義で授与していたが、2 年前より賞金の拠出はなくなり、学会単独での授与となった。地質学会として賞の主催を受け継いだ。論文賞と趣旨が重複していると考えられるため、論文賞に統合したい。理事会、総会に廃止を提案する。なお、Island Arc 掲載論文を対象とした賞として Most Downloaded Award がある。この賞は Wiley が単独で行っており、地質学会は関与していない。

6. 2023 年度事業実績概要（案）について

12 月理事会以降に実施した事項について追記・微修正の上、4 月理事会へ上程する。

7. 2024 年度事業計画骨子（案）について

令和 6 年能登半島地震対応、シニア会員の活躍の場検討、会員システムの周知について追記した。また出版活動の「専門部会等と協力して投稿数の増加に努める。特に各分野からの総説論文を増やし、学術誌としての存在感と注目度を高めるように努力する。」について、実現可能なより具体的な策を事業計画に盛り込むこととする。文言を最終修正の上、4 月理事会へ上程する。

8. 理事会審議事項の確認

- 1) 名誉会員候補者の選出（星）
- 2) 各賞受賞者の決定（三田村）
- 3) 研究奨励金支給対象者の決定（内野）
- 4) 「大地と人の物語 ～地質学で読み解く日本の伝承～（仮）」出版企画提案（天野）
- 5) 2023 年度事業実績概要（中澤）
- 6) 2024 年度事業計画骨子（岡田）
- 7) 2023 年度決算概算（亀高）
- 8) 2024 年度予算案（亀高）
- 9) 総会議案の決定（中澤）
 - 第 1 号議案 2023 年度事業報告・決算報告・監査報告
 - 第 2 号議案 代議員、理事および監事選挙結果報告
 - 第 3 号議案 2024 年度事業計画
 - 第 4 号議案 2024 年度予算案
 - 第 5 号議案 名誉会員の選出
 - 第 6 号議案 運営規則の変更（Island Arc award の廃止について）

監事コメント

(岩部監事)

Island Arc 誌の Wiley との次期更新 (2028 年を予定) に向けて, 他学会からも情報収集しながら, 会員にとって不利益が生じないような対応を進めて頂きたい.

今年度から電子投票となった代議員選挙, 会長副会長意向調査では, 郵送投票であった前回と比べ大きく投票率が低下した. このことを重く考え, 電子投票有りきではなく, 会員にとって投票し易い方法へ改善されるよう検討して頂きたい.

以上

2024 年 4 月 1 日

一般社団法人日本地質学会

会長 (代表理事) 岡田 誠

署名人 執行理事 中澤 努

今後の予定

- ・ 2023 年度第 10 回執行理事会 2024 年 4 月 13 日 (土) (Web) 10:00-
- ・ 2023 年度第 3 回理事会 2024 年 4 月 13 日 (土) (Web) 14:00-
- ・ 2023 年度第 11 回執行理事会 2024 年 5 月 18 日 (土) (Web) 13:00-
- ・ 2023 年度第 12 回執行理事会 2024 年 6 月 8 日 (土) (Web) 10:00-
- ・ 2024 年度 (第 16 回) 代議員総会 2024 年 6 月 8 日 (土) (Web) 14:00-
- ・ 2024 年度第 1 回理事会 2024 年 6 月 8 日 (土) (Web) 総会終了後